

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ダイナスター	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ダイナスター

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：キラー・マシンⅡ

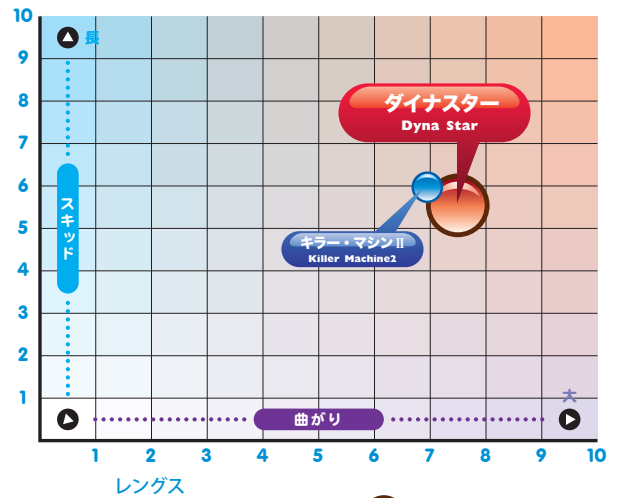
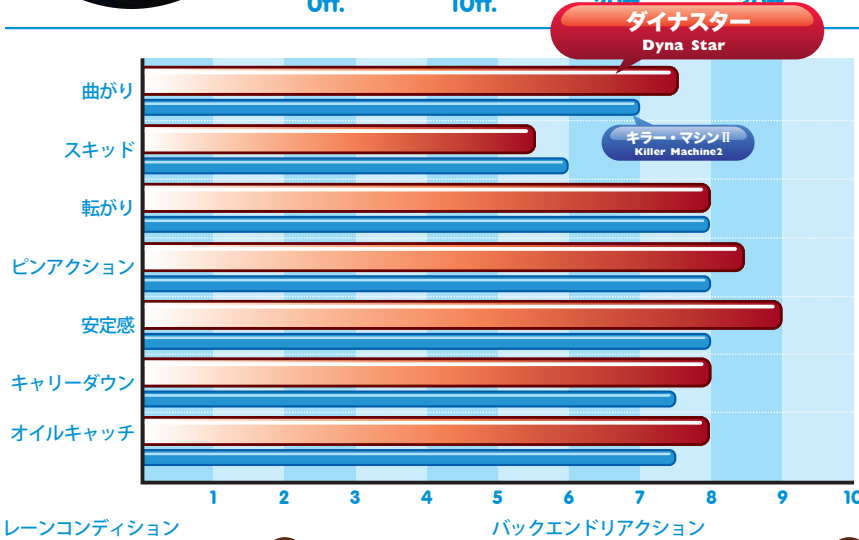
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

日本完全監修によるオリジナルブランドの設立。

この新しいブランド”Dyna Star”に対する評価は、ダイノタン社にとどまるだけでなく、コロムビア社・トラック社製品をも超える絶大なる支持を受けられることは明確であります。なぜならばこのDyna Starは今までインターナショナル製品として発売してきたノウハウをカバーストックからコアテクノロジー及び数値を日本完全監修でDyna Starシリーズとして反映させること。

またさまざまな経験から日本のコンディション事情からマーケット、ニーズに至るまで各々の領域でベストなボールを算出できているということ。今回の第一弾はキャッチと先でのAngularな動きを同調させたミディアムコンディションで抜群の運動性能とバランスを誇るスペックでリリース致します。粘り強くオイルを捉えながらもスキッドを保つカバーストック。パーフェクトにピンを弾き飛ばすために必要な入射角を得るためのバックエンドモーションを演出するコア。このボールを投げれば、如何に良い仕上がりなのかを知ることができます。

私たちは今までさまざまなカバーやコアの特性、組み合わせを経験することにより、伝説とされるボールを数多く発売することができました。そして今回今まで未発表のランクの高いカバーストックとコア双方を組み合わせ、新ブランド”Dyna Star”としてリリース致します。現在これだけ性能の良いボールが流通する中、中途半端な性能で新しいブランドを立ち上げられない現状であえてDyna Starでパフォーマンス勝負を挑みます。この新ブランドDyna Starはこの先きと一ブランドとして受け入れられ、シリーズ化されることになるでしょう。

特記事項

粘り強くオイルを捉えるカバーストックとAngularモーションを見出せるコアとの組み合わせの新ブランドDyna Star。日本のコンディションに標準を合わせ、日本完全監修での発売です。